



安心・安全



深い学び



心と体の健康

2022
11

作成：士幌町教育委員会

「教育進化」の鍵！コミュニティ・スクール

教育進化のための改革ビジョン

現在進行中

- ・二入二出端末の実現
- ・小学校35人学級の計画的整備
- ・教員免許制度の見直し



- 新型コロナウイルス感染症を契機として
- ・デジタルが持つ学びにおける可能性の提示、学びの在り方の変容
- ・学校の持つ福祉的機能や教師の存在意義、リアルな体験の持つ価値の再認識

2つの基本理念と4つの柱

誰一人取り残さず個々の可能性を最大限に引き出す教育
～「令和の日本型学校教育」答申内容の具体化～
・教職員が安心して本務に集中できる環境

- ☑ 「リアル」×「デジタル」の最適な組合せによる価値創造的な学びの推進
- ☑ これまでの学校では十分な教育や支援が行き届かない子供への教育機会の保障
- ☑ 地域の絆を深め共生社会を実現するための学校・家庭・地域の連携強化
- ☑ 教職員が安心して本務に集中できる環境整備

2022年2月26日に文科省が公表した「教育進化のための改革ビジョン」です。中でも『地域や企業の力を巻き込んだ「リアルな体験」の充実』の項でコミュニティ・スクールについて触れています。士幌町でも一步一步、こうした取り組みが進んでいるところです。

今月号では士幌小学校、士幌町中央中学校、士幌高校での実践を紹介します。

○地域や企業の力を巻き込んだ学校運営や「リアルな体験」機会の充実

- ・全ての学校でのコミュニティ・スクールの導入を加速（重点期間：令和4～6年度）し、地域に開かれた学校運営の実現と防災活動等での学校・地域の連携強化
- ・地域や企業と連携した形での学習支援や、起業家との触れ合い、豊かな体験機会の提供
- ・地域や企業と連携し全ての子供に学校内外での体験活動の定着（異年齢集団での地域活動、職業体験、ボランティア、自然・文化芸術体験、読書等）や課題を抱える子供たちを対象とした体験活動の充実



経済界との直接対話により強力に推進

地域と連携して行う学校図書館運営

士幌小学校



【図書委員会での伊藤司書によるお話】

9月27日（火）の5、6時間目、児童会活動の時間に、士幌町しとしみ図書館司書、伊藤麻衣子さんにご来校いただき、図書委員会の活動についてアドバイスをいただきました。もっと図書室を利用したくなるようなイベントを提案していただき、図書委員の子どもたちは、早速やってみたく感じました。今年度、士幌小学校では士幌町学校運営協議会と連携し、よりよい図書館教育のために、学校外の人材を活用して図書整備、読書の啓発、児童への

図書指導等を行っています。伊藤司書には今後も来校いただき、職員、児童へのアドバイスをいただく予定です。

また、「**図書サポ**」募集をしたところ、現在6名の保護者・地域の方が登録してくださいました。士幌小学校の学校図書館運営をサポートしてくださる心強い応援団が誕生しました。（次の URL から登録ができます！随時登録受付中です！！）[「図書サポ」申込みはコチラをクリック！](#)

「読書の秋」をきっかけに、さらに子どもたちが本好きになり、豊かな心がはぐくまれることを願っています。

「士幌探究学習」＝「地域とともに」

士幌町中央中学校



【2年生 農業体験学習】

士幌町中央中学校では、総合的な学習で「士幌探究学習」を実施し、士幌町のことを詳しく知ることによって郷土への愛情を深め、地域貢献や自ら地域発展を考える姿勢の醸成を図っています。

【2年生 農業体験学習】

2年生では、士幌町の主幹産業である農業について、PTA 会員4軒の農家の方のご協力をいただき体験学習を行いました。

毎日、給食で飲んでいる牛乳の生産現場を体験したり、肉牛の現場を訪問したりして、改めて農業の重要性や自分達が住む士幌町のすばらしさを実感することができました。

【3年生 町づくりプロジェクト】

3年生は、道の駅公園プロジェクトに昨年度から関わっています。道の駅店長さんやスタッフの方、アトリエモモの方のお話や、東京から講師の方を招き講話をしていただきました。また、実際に道の駅でスタッフの方々や来客者の方々にインタビューをして、道の駅に関するマーケティング調査を行いました。

今後は、道の駅の横に新しく造られる公園について、多くの人に来てもらえる公園にするにはどうしたらよいかを話し合っていく予定です。



【3年生 道の駅でインタビュー】

士幌高原環境整備活動

北海道士幌高等学校



令和4年6月20日(月)に本校フードシステム科2年生が「士幌高原 寛雄芳士銅像周辺環境整備」を実施しました。この環境整備事業は奉仕活動を通して郷土の自然を愛する心を養うとともに、地域住民との交流により社会性を身に付けることも目的に行っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により直近の2年間は中止となっていたこの事業でしたが、屋外での作業ということもあり、今年度は感染拡大防止対策を十分講じたうえで「寛勇芳士をたたえる会」の事務局員の皆さんとともに無事に環境整備を行うことができました。

ヌプカの里には、産業基盤の整備や農村工業の進展などから郷土の発展に力を注いだ秋間勇、飯島房芳、太田寛一の3氏の銅像があり、本校生徒は2年生に進級する前の3月に事前学習として士幌町農協記念館を訪れ、3氏の業績や歴史を学び、偉人たちの功績によって現在の安定した生活が保たれていることなどを学びます。当日は朝から生憎の小雨交じりの天気でしたが、作業前には雨も上がり、生徒たちは脚立に登り、3体ある全ての銅像の頭の上から台座までをきれいに拭き上げ、伸びた雑草を丁寧に草刈り機で刈り、汗を流しました。



◆士幌小学校の学校図書館運営。町図書館司書や「図書サポ」、いいですね！◆中央中学校の「探究学習」はまさに「地学協働」。見事なカリキュラムマネジメントです。◆そして士幌高校。士幌を学び、士幌の方と汗を流す。素晴らしい実践です。◆「志プロジェクト」も含めた士幌高校の取組が、士幌町の幼少中の学びと連動することで、一層の教育効果・相乗効果が生まれそうです。その一つのきっかけづくりに「学校運営協議会」の活動が機能することを願っています。◆11月には第2回全体・連携会議が開催予定。「志：士幌の心」を共有することができるといいですね。(渋谷)